

あきる野市 町・自連会報 第20号

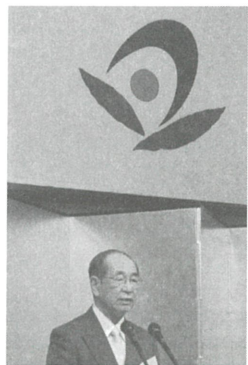
発行/平成24年2月29日 発行者/南 征夫 編集/あきる野市町内会・自治会連合会会報部会

ご挨拶

あきる野市町内会・自治会連合会
会長 南 征夫

「町・自連会報」は平成一四年の創刊で、今号が二〇号となります。創刊号で青木自治連合会長が「町内会・自治会に係る共通の課題を集約し解決して行く」「行政と町内会・自治会の両者に関わりのある業務の効率化」の二題を目標課題として取組むと記しております。一〇年経った今もまさにそのままが課題となっております。むしろ時代の流れの中で益々課題が増えてきています。

昨年は、東日本大震災があり多くの行事が中止または延期になり、このままでは景気の後退が益々起ってしまうことから、夏以降「元気を出そう日本」のスローガンのもと、あきる野市でも多くの行事が再開しました。あきる野市民祭りは、連合会参加行事の中でも特に多くの皆さんに参加いただき大変盛り上がり



りました。

連合会が企画した行事も沢山行いました。加入促進部会は、ソフト面で加入促進を図ろうと、前年から始まった救急医療情報キットの積極的な普及活動をいたしました。六地区の連合会・会長会は、東京都の「地域の底力再生事業助成」を受けて携帯無線機を全町内会・自治会に配備することができました。災害時に正確な情報を細かく速かに伝達する手段が一步進んだと思えます。会報部会は、しっかりと共通の課題を集約し会報を通じて会員各位に周知するための活動もしていただきました。

一人一人が自分達の街は自分たちで守るんだと言う意識を持って各種の行事に参加していただきますようお願いいたします。

自治会紹介 グランドゴルフは、健康の源

秋留自治会長 渡部 好昭

我が秋留自治会の高齢者クラブは、一〇年以上前から健康づくりの一環としてグラインドゴルフを楽しんでいます。マンツーマンで仲間を増やし二〇人余が参加しています。水辺公園のサッカークラウンドで毎週水・木曜日の午前中二時間みっちり練習します。五月と一〇月は、東秋留地区高連の大会に、六月と九月は、あ高連の大会に参加します。

もう一つの楽しみは、長野県佐久温泉の一泊研修です。二日間グラインドゴルフを大いに楽しみ、大宴会でリフレッシュしています。

グラインドゴルフは、年配者にとって肉体的にも精神的にもとても良いスポーツだと思います。雨や雪が降らない限り年中無休で楽しんでいます。年末の成績発表・表彰式・忘年会で大いに盛り上がりました。

地域の話題



養沢地区 養沢神社の柘の大木



寺岡地区 五柱神社の杉の大木

*場所は、あきる野市商工観光課作成の「あきる野百景めぐりマップ」でご確認ください。



高齢者クラブ新春の練習

役員会・全体会の協議事項

平成三年

- 八月二八日(役員会)
 - 視察研修会の計画
 - 地域の底力再生助成の検討
 - 九月一五日(役員会)
 - スポレクについて
 - 視察研修会について
 - △ 地域懇談会について
 - △ 温暖化対策検討委員推薦依頼
 - 一〇月一三日(全体会)
 - 視察研修会について
 - 各部会の報告
 - △ 地域懇談会について
 - △ 総合防災訓練について
 - 十一月七・八日(視察研修会)
 - 新潟県旧山古志村中越大地震の被災地
 - 十一月二四日(役員会)
 - 新年会について
 - 新年会について
 - 連合会長の専任について
 - 西多摩連合会長の研修会について
 - 平成二四年
 - 二月一三日(新年会)
 - ルピアホール
- (注) ○印は、連合会の協議報告事項
△印は、市からの連絡事項
(中村 裕)

救急医療情報キットの運用

加入促進部会 大久保 春彦

平成二三年より、あきる野市全域で運用が開始された「救急医療情報キット」は、一二月末現在で一九三二世帯に設置され、二五三六名の情報を秋川消防署に登録して運用されています。

町内会・自治会連合会では一月中旬から一カ月間、導入推進強化月間として導入促進を図りました。

地域によっては、民生児童委員さんが支援を必要とする方に積極的に導入促進を図って頂き、成果を得ることができました。

「もしもの時に安心できる」消防署からは「迅速な対応ができるようになった」との声が聞かれました。導入した効果が感じ取れます。運用当初は、キット数の関係から、七五歳以上の単身者か高齢者世帯を対象にしていましたが、病

高齢者の支援を必要とする方への対応は、様々な角度から実施されていますが、「救急医療情報キット」もその一つとして、今後も市と一緒に考えてお進めしたいと考えております。



ご夫妻で登録している内倉満さん

編集後記

この項を書き始めた早朝から初雪になりました。こんな時に薪ストーブの価値が出ます。手間を楽しみ、場所のある方に限ってお勧めします。

さて、一〇年間発行してきた会報の第二〇号をお届けします。この時期に創刊時の連合会長青木且治さんにお会いする機会があり、「西多摩地区連合会で最も早い創刊であった」とお聞きしました。

会報部会員が二年間の任期中に、十人十色の多色感ある感覚で編集に携わり、印刷屋さんや黒と緑の二色で仕上げたものがこの会報です。なによりも短期間に原稿を快く執筆いただき、また字数調整等にも応じて頂いた執筆の方々に御礼申し上げます。

連合会と会員のパイプ役として、これからも広報誌が活用されることを願います。

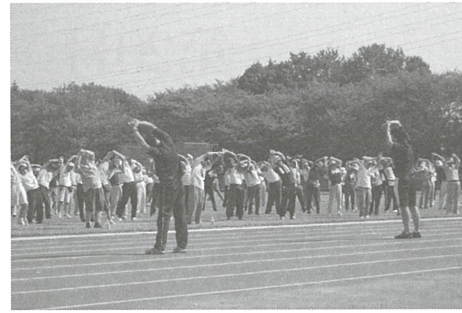
〈会報部会員〉
南 征夫・渡部好昭・小川金二
須藤 勲・中村 裕・森田勝治
山中利勝・山崎透一・岡部輝男
小峰秀夫

町内会・自治会への加入促進の取組み

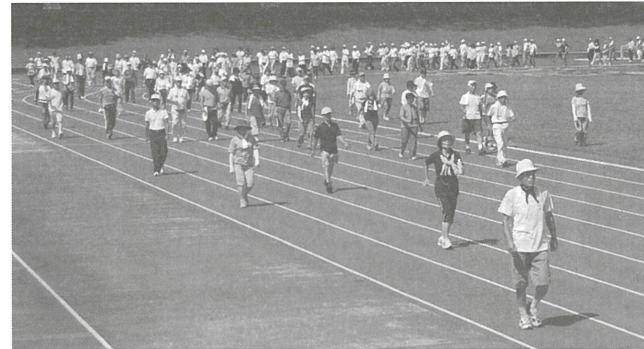
加入促進部会 中村 勇

昨年三月に未曾有の「東日本大震災」が発生し、あきる野市の住民も多大な影響を受けました。地域住民の「絆」の大切さを痛感させられました。住民相互の連携を図り様々な課題を解決していく場として町内会・自治会があります。

私たちの財産である心身の健康を維持し楽しい生活をするに必要なウォーキングについて、「インターバル速歩」講習会を開催し町内会・自治会加入のきっかけづくりをしています。



準備体操



400mのトラックでインターバル速歩

平成二二年度は、各地区で講習会を開催し効果あるウォーキングを経験し、今年度は全市民を対象とした講習会を、九月一〇日に都立秋留台公園競技場で開催しました。およそ六〇〇名が、天候に恵まれた四〇〇メートルトラックで、メリハリのあるウォーキングをして心地よい汗を流し、楽しい一日を過ごすことができました。

あきる野市総合防災訓練と増戸会場報告

増戸地区防災・安心地域委員会委員長 大久保 春彦

平成二二年度あきる野市総合防災訓練は一月二〇日好天の中、増戸小学校校庭をメイン会場に各地で開催され、参加者七九〇四人と今までにない大規模な訓練が実施されました。



総合防災訓練閉会式

平成二二年度あきる野市総合防災訓練は、自宅での身体防護・出火防止訓練の後、一時集合場所に避難し、安否と被害状況を確認後、自治会毎に新たに導入した無線機により本部と交信し被害状況を報告する情報伝達訓練を実施しました。避難場所に着後、自治会毎の受付場所ですべて「氏名・緊急連絡先・資格等避難所生活で役立つ情報」を記入する避難者カードの記入訓練を実施しました。避難者の到着が集中した時の混乱は予想していたので、問題点が掴めたことは今後役に立つと思います。



中学生の消火訓練

メイン会場では二二〇人以上が、消防署の指導により初期消火・煙体験・応急救護訓練及び、自衛隊と赤十字奉仕団による炊出し給食訓練を体験し、カレーライスを大変美味しくいただきました。

増戸地区防災・安心地域委員会、防災行政無線ジェイ

今回の訓練は、無線を活用した情報伝達訓練・避難者カード記入訓練等の新たな取り組みを実施しましたが、特出した点としては小学生・中学生に引続き募集した増戸地区防災標語の入選作品を中折りに紹介します。

「防災は日頃の備えと地域の絆」 「覚えよう避難経路と避難場所」

増戸地区防災標語 一般の部より
増戸地区防災標語 小学生の部より

平成二二年度「地域の底力再生事業助成」について

連合会会長代行 渡部 好昭

平成二二年度は、連合会の加入促進部会が、東京都の「地域の底力再生事業助成」を申請し、「インターバル速歩の講習会」を地区毎に開催し、好評でした。

今年度は、東日本大震災で地域コミュニティの重要性が浮き彫りとなり、町内会・自治会の連携強化が不可欠となりました。東京都は過年度助成を受けた団体も、防災対策や節電対策事業を実施する場合は、再度助成の申請ができるよう変更したことから連合会はこの助成の活用方法を検討し、地区毎に申請する事としました。

六地区の申請テーマは、左記の通りです。

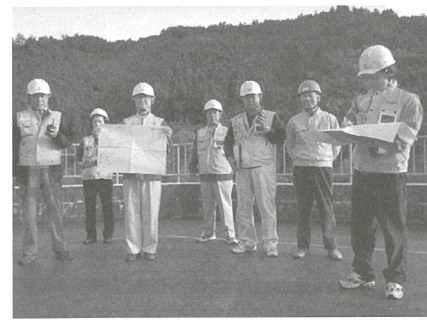
一、東秋留地区
災害時連携体制強化事業

二、多西地区
小型無線機による情報伝達訓練

三、西秋留地区
災害時を想定した「避難訓練



東秋留地区無線訓練



無線訓練前の打合わせ

第一回あきる野市防災コンクールの報告

防災・安心地域委員会本部長 倉田 克治

標記コンクールを、市長並びに消防署長他来賓にご臨席いただき二月一日秋川駅前運動公園にて好天のもと開催しました。模範演技を競技の半ばで再確認する初回ならではの場面もありましたが、防災の正しい知識を体感する有意義で盛況な催物でした。



競技の7項目め「救出」



救護模範演技

中越大震災の被災地視察研修会

幹事長 塩野 達夫

あきる野市町内会・自治会連合会の各会長の視察研修会が一月七日～八日に開催され、五八名が参加しました。

今回は平成一六年一〇月二三日に発生した新潟県中越大震災の被災地である長岡市山古志地区(旧山古志村)を視察しました。

最初に山古志支所内で映像により被害状況や復興の経過について説明を受けた後、現場を視察しました。地すべりが多く参加して訓練が実施できたことがあげられます。

特に中学生は、翌日からの期末テストを控えた大切な時期に、学校と保護者の理解により参加して、多くの体験訓練と共に給食訓練の手伝いもしました。これからの地域を守る担い手である中学生の参加は大変有意義なことであり、今後も継続して参加できる風土作りが重要と考えます。

昨年に引続き募集した増戸地区防災標語の入選作品を中折りに紹介します。